

令和7年度教育条件整備要望に対する回答の会 事前質問項目

PTA連合体	項目	要望事項	所管課	回答	回答に対する質問	質問への回答
中学校	1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望	②タブレットを使用したアクティブラーニングの授業の増加を要望	教育研究・ICT推進課	ICTインフルエンサーによる活用事例の共有や授業提案を通して、区内教職員への活用推進を行っています。また、研究主任研修では、教育DXアドバイザーである講師を招いてICTを活用した授業実践について、各校の中核となる教職員へ向けて研修を行い、効果的な活用の推進に取り組んでいます。	ICTインフルエンサーは現在何名（全中学校および各校において）いらっしゃいますか？	中学校で11名、小学校には19名。
	(1) ICTの活用の充実					
中学校	1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望	④教科書、資料、プリント、ノートなどのデジタル化を要望	教育指導課	区では、現在策定を進めている「世田谷区教育の情報化推進計画（令和6年度～令和10年度）」（世田谷区ホームページ ページ番号(以下「区HP ページ番号」という)：5815 掲載資料「16. (仮称) 世田谷区教育の情報化推進計画の素案について」)において、紙の教科書とデジタル教科書・教材（デジタル機器や情報端末向けの教材のうち、既存の教科書の内容と、それを閲覧するためのソフトウェアに加え、編集、移動、追加、削除などの基本機能を備えるもの）に関して、効果的な学びを実現するための最適な組合せや、教育上の効果について検証を進めることとしています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。	世田谷区ホームページを拝見したところ、ページID1792「世田谷区教育の情報化推進計画（令和6年度～令和10年度）令和6年4月」という資料がありました。現在策定を進めている…というのは、この資料のことで、もう策定済みという事で良いのでしょうか？ また、掲載資料で検証を進めることとしているという「紙の教科書とデジタル教科書…」の記述が見つけられないのですが、この内容は資料のどの辺り（ページ）に記載されていますか？	世田谷区教育の情報化推進計画について P.8 第2章 目指すべき方向性 3. 教育 DX 推進にあたり留意すべき視点 (1) 調査研究等の推進 ・近年、教育 ICT を取り巻く環境や社会情勢が急速に変化し続けていることから、ICT 教育の先進国や他自治体における学校教育の情報化の現状等、常に最新の情報収集に努め、施策の検討や改善等に活用します。効果的な教育方法や教材、健康への影響など、国内外の先行的な調査研究の整理を進めます。紙の教科書とデジタル教科書（注「P38 の用語解説を参照）に関して、効果的な学びを実現するための最適な組合せや、教育上の効果について検証を進めます。
	(1) ICTの活用の充実		教育研究・ICT推進課	AIを搭載したドリル学習アプリ（Qubena）や、双方向型学習支援アプリ（Teams、ロイロノート）を配備し、協働的な学び・個別最適な学びを推進しています。 なお、デジタル教科書については、学習者用のデジタル教科書を活用した研究に取り組んでおり、引き続き当該研究を進めてまいります。		
中学校	1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望	⑤ スクールソーシャルワーカーの設置を要望	教育相談課	令和4年度より不登校支援に係るスクールソーシャルワーカーを4名から5名に増やし、心理職員とスクールソーシャルワーカーで構成する不登校支援チームにより学校や家庭への訪問を行うとともに関係機関への繋ぎや調整を行うなど、課題解決への支援の強化を図っています。 福祉的な課題を抱える子どもや家庭に対して、必要な支援に繋がれるよう、引き続きスクールソーシャルワーカーの安定的な確保に取り組んでまいります。 また、研修の充実や支援事例を重ねることにより、支援の質を向上してまいります。	このスクールソーシャルワーカーは、令和3年12月に教育総合センター内に開設された不登校支援窓口のスクールソーシャルワーカーが現在5名、という事でしょうか？ 「自校専任のスクールソーシャルワーカーの常勤配置」にはまだ遠いのですか？	心理職員とスクールソーシャルワーカーで構成する不登校支援チームにより学校や家庭への訪問を行うとともに関係機関への繋ぎや調整を行うなど、課題解決への支援の強化をはかっており、学校に配置する予定はありません。
	(2) 教職員の増員					
中学校	1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望	②特別支援学級のさらなる充実のため、教員の増員を強く要望	教育指導課 支援教育課	特別支援学級の教員配置は東京都の基準で定められており、基準を上回る教員の配置は困難な状況です。区独自で配置した非常勤講師を活用しながら特別支援学級での指導の充実を図ってまいります。 ●令和6年度区独自で非常勤講師を配置している学校は、喜多見中、世田谷中の計2校です。	令和6年度の回答書において、「令和5年度区独自で非常勤講師を配置している拠点校は、桜丘中、駒沢中、緑丘中、桜木中、深沢中、尾山台中、船橋希望中の計7校」と記載されていますが、令和5年度に配置されていた上記学校については、令和6年度は配置なしという事でしょうか？	令和6年度の回答は「特別支援教室を巡回する拠点校」に配置する非常勤講師について記載し、今年度の回答は「特別支援学級」への非常勤講師の配置について回答しているため、学校名、校数に違いが生じています。 なお、令和6年度区独自で非常勤講師を配置している「拠点校」は、桜丘中、駒沢中、緑丘中、桜木中、深沢中、尾山台中、船橋希望中の計7校で変更ありません。
	(4) 特別支援教育の充実					

中学校	1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望	④教職員のメールアカウント設定を要望	教育研究・ICT推進課	学校毎に代表のメールアカウントを設定しておりますので、そちらのアドレスへメールをお願いします。	要望の趣旨としては、保護者が、担任の先生等と直接やり取りが出来るように「教職員のメールアカウント設定を要望」したのですが、代表ではなく、直接担当の先生方にメールする事は出来ませんか？	保護者様との連絡、やりとりは担任個人としてではなく、校長、副校長、学年主任、養護教諭等、含め学校としてさせていただきたい考えから、現時点では難しいと考えております。ご意見、ご要望としては賜りました。
	(6) その他					
中学校	2. 学校施設・設備の整備と安全に関する要望	② タブレット端末の機能向上、学校にタブレット用充電ステーションの設置を要望	教育研究・ICT推進課	タブレット端末については令和7年度に新機種への入替をすべく、予算要求を行っております。 また、タブレット型端末につきましては、学校内での様々な学習活動で使用するほか、家庭学習（調べ学習、調査活動、まとめ等）にも利用していただく観点から、基本的に毎日、持ち帰りいただくとともに、翌日以降に支障なくご利用いただけるよう、ご家庭で充電の上、学校に持参いただくようお願いしております。充電ステーションの設置については現在のところ計画をしておりません。	タブレット端末については「貸与タブレット端末の軽量化」という要望も上がっていますが、新機種の選定にあたって「軽量化」は考慮されますか？	新機種選定に際し、軽量化も考慮しております。 一方でiPadを破損から守る堅牢性を確保するため、大幅な軽量化は難しい状況です。 タブレットを日々の登下校で持ち運ぶことによる深刻な影響が懸念される場合等、状況によっては個別の対応が必要なこともあると考えております。
	(1) 通信ネットワーク環境整備の充実（継続・新規）ネットワーク環境設備の充実					
中学校	2. 学校施設・設備の整備と安全に関する要望	① 生徒が安全な環境で学べ、かつ地域の避難所として近年多発する自然災害に備えるためにも、各学校の現状を把握し、校舎内外の老朽箇所の点検、補修、改修などの計画を明確化することを要望	教育環境課	定期的な点検の実施をしており、状況に応じた修繕や計画的な改修を進めるとともに、大規模な改修工事につきましては、年度当初に各学校へ情報提供をしております。 今後とも避難所としても活用される学校施設の状況把握に努め、老朽化の改善、安全な教育環境の確保に向けた対策に取り組んでまいります。	●2. (2) ①、2. (3) ①、2. (5) ①について、点検の実施結果や改修、または更新の計画とその実施状況を公開（情報共有）してほしいのですが、世田谷区ホームページ等で閲覧できますか？ 令和7年度に〇〇中学校、△△中学校…改修予定、など学校名も記載して欲しいです。	●点検につきましては、「施設の点検項目の一覧」に示す法令に基づく定期点検や自主点検を実施し、点検結果を踏まえた計画的な修繕を行っております。「施設の点検項目の一覧」は、世田谷区ホームページ（ページID1798）の世田谷区学校施設長寿命化計画（令和6年6月改訂）にあるP32～34に一覧で記載しております。 改修等を実施する具体的な学校につきましては、次年度当初予算の決定後速やかに各学校との調整を図っております。また、改修内容はクラス増対応による普通教室化や給食室改修や新設、外壁改修、体育館照明LED化、エアコン更新、トイレ洋式化、電子錠化など多岐に渡り、各学校等との調整後、詳細が決定するため、公表は行っておりません。 なお、空調設備につきましては、令和9年度までの更新整備計画について、お示ししております。
	(2) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修					
中学校	2. 学校施設・設備の整備と安全に関する要望	①生徒が安全に活動でき、かつ地域の避難所として備えるため、近年の異常な気温上昇による熱中症対策として、体育館および校舎の空調設備のさらなる増設と機能強化、および計画の明確化を早急に強く要望	教育環境課	校舎の空調設備については、令和9年度までの更新整備計画をたてて順次改修を実施しているところです。 体育館の空調整備については、電気量の調査を行い、令和9年度を目途に空調設備の増強を行っていく予定です。	●2. (5) ①洋式トイレ化について、「令和8年度末までに8割達成を目途に」の8割は、全中学校のトイレの8割を洋式化か、各中学校において学校内トイレの8割を洋式化、どちらでしょうか？	●全小中学校のトイレの8割の洋式化を目標としておりますが、学校による偏在の状況も確認しながら、整備に取り組んでまいります。
	(3) 熱中症対策のための設備充実					
中学校	2. 学校施設・設備の整備と安全に関する要望	① 全てのトイレ（体育館含む）の洋式トイレ化、および計画の明確化を要望	教育環境課	トイレの洋式化につきましては、学校施設の状況把握に努めながら、令和8年度末までに8割達成を目途に改修を進め、できる限り速やかに実施できるよう対応してまいります。体育館等避難場所としての利用が見込まれるトイレにつきましても、引き継ぎ洋便器化を計画的に進めてまいります。		
	(5) 全てのトイレの洋式トイレ化、トイレ設備の増設・改修					

中学校	3. 部活動に関する要望	① 充実した部活動を行うために必要な楽器や用具、備品などの購入費、メンテナンス費に充当する予算として各校に20万円配当継続、増額を要望	地域学校連携課	部活動にかかる備品購入費の予算は、厳しい財政状況の中、全校向けの購入希望調査のうえで予算措置するなど、今後も計画的、効率的な整備を図ってまいります。	全校向けの購入希望調査はこれから実施予定ですか？ また、令和6年度実績を教えてください（各校に20万円配当されたのでしょうか？）。	備品購入費については、これまでは、各年度8校ずつを学校番号順に割振り、均等に分割してきました。令和6年度は、この方法により、順番にあたる砧南中・喜多見中・三宿中・世田谷中・船橋希望中に予算分割しました。令和7年度からは、手法を見直し、年度ごとに全校を対象とした購入希望調査を行い調整の上で配分を行うよう、変更する予定です。令和7年度の購入希望調査は、今後、実施する予定です。
	(2) 部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額					
中学校	5. いじめや不登校の問題に関する要望	④不登校生徒のため、各校に適応指導教室等の設置と教員の配置、増員を要望	教育相談課	ほっとルーム（別室登校）については、不登校の早期段階における支援として大変有効であることから、今後も引き続き別室内の安全管理や学習支援等の確保のための学校生活サポーターの配置や児童・生徒が過ごしやすい別室の環境整備費用の予算措置等により、ほっとルームの全校設置に向けて支援の強化を図ってまいります。	現在、ほっとルームはどのくらい設置（29校中何校に設置）されていますか？また、別室登校のための学校生活サポーター配置校は29校中何校でしょうか？	現在、中学校15校に学校生活サポーターを配置するための予算を配当しております。来年度は、全中学校に学校生活サポーターを配置するための予算を配当する予定であります。
	(3) 不登校					
中学校	5. いじめや不登校の問題に関する要望	⑤不登校生徒への柔軟な対応策（遅刻の扱いなど）を区で検討し、情報提供してほしい	教育相談課	ほっとスクール（教育支援センター）の通室及びオンライン事業（ほっとルームせたがYahoo!オンライン）に参加した児童・生徒については、学期毎に在籍学校長あてに出席日等を報告するとともに当該出席日について出席扱いとしていただくよう依頼し、区立小・中学校においては出席扱いとしています。	学校に行く気持ちになれないことにより、欠席するだけでなく遅刻というケースもあると考えています。遅刻の場合はどんなサポートがあるのか、区内小中学校の過去の事例も踏まえて情報提供してほしい。	一部の学校においては、「ほっとルーム」という別室登校できる部屋を設置しています。遅刻も含め、まずほっとルームに登校し、自分のタイミングで教室に入ることができるので（一日ほっとルームで過ごすことも可）、登校へのハードルを下げることにつながっています。校内の空き教室数やスペース、区の予算状況を踏まえ、順次拡大していく予定です。
	(3) 不登校		教育指導課	区では、これまでも文部科学省の方針に準じた対応を行っています。出席の扱い等を含む不登校生徒への支援については文部科学省のHPで確認いただくことができます。		
中学校	6. その他	⑥公教育における格差を早急に是正するために、区内29校のインフラ項目をリスト化して【見える化】してほしい	教育環境課	個別（特殊）事情や学校からの発注実態もあり、各学校の設備に差が生じておりますが、設備更新ではない、基本的な設備の有無における格差は望ましくないと考えています。また、改修にあたっては、学校数が多いことや、各学校での環境が異なること、財政状況などから、すべての学校の改修を同時に行うことは、困難です。他の改修工事との兼ね合いや優先順位も考慮しながら、順次改修を行ってまいりますので、ご理解ください。なお、設置の途上にあるものは、漏れの無いよう、リストなどにて管理してまいります。	【見える化】のため、リストなどで管理している情報を開示（情報共有）していただけないか？	●改修工事につきましては、予算措置後、各学校等との調整の上、詳細が決定するため、公表は行っており、インフラ項目についても同様となります。 学校施設につきましては、改築による求められる学習環境の整備に取り組んでおりますが、既存校につきましては、各学校施設の設置以降の法令等の改正や求められる教育環境の変化、新たな方針や取り組み等が生じており、具に捉えながら、順次改修等を進めております。 そのため、未整備の学校については、設備等に差が生じておりますが、学校数が多いことや、各学校での環境が異なること、財政状況などから、すべての学校の改修を同時に行うことは困難です。 他の改修工事との兼ね合いや優先順位も考慮しながら、順次改修を行ってまいります。
	(5) その他					